

事後評価シート

調査研究課題名	インドの物流事情に関する調査研究
担当者	研究調整官 笹山博、前研究調整官 佐野透、研究官 白井大輔
①当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、インドに既に進出・展開する、あるいは今後しようとしている荷主企業や物流企業の参考となり、今後のインド政府との政策対話に資する基礎情報の提供を行うため、インド国内の物流における問題点を把握するとともに、インドに進出・展開している日系企業がどのような対応を取っているかの整理を行ったものである。</p> <p>インドの概況、物流環境及び日系企業の進出状況に関する既存文献の整理並びに現地でのアンケート調査及びヒアリング調査により、トラック輸送、港湾・空港等の利用時の問題点と日系企業の対応の具体例を把握することができ、当初の目的を達成することができた。</p>
②調査研究内容の妥当性	<p>インド日本商工会を始めとして各地域の商工会に加盟の現地日系企業にアンケート調査やヒアリング調査を行い、これらの実施を通して直接、現地企業の声を聞くことができた。アンケート調査については、回答をエクセルファイルにし、選択肢を事前設定することで簡便な回答を目指すとともに、回収後の集計作業を簡便化する工夫を行うことにより、短期間の集計・分析を実施することが可能となった。</p>
③調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査結果の取りまとめ時に、有識者から意見を聞き、それを反映させた上で調査研究を取りまとめることができた。</p>
④成果と活用	<p>調査研究に協力いただいた現地法人事業所に調査結果を送付するとともに、当研究所のホームページ等で公表し、成果を有効に活用してもらう。</p> <p>また、総合政策局等物流関連部局に成果を説明し、今後の日印間の物流関係政策対話等のための基礎資料として活用してもらう。</p>
⑤その他	<p>国土交通政策研究所 物流研究発表会（平成23年6月15日）にて発表 海外港湾物流プロジェクト協議会第2回インドWG（平成23年8月10日）にて報告</p>